

第325回 日本体育大学長距離競技会

【出場結果】

実施日 : 11月29日(土) 10000m
11月30日(日) 5000m

会場 : 日本体育大学健志台陸上競技場

出場者 : 西沢 晃祐 小林 航央 塚井 韶己 下田 大翔

出場種目・出場者・リザルト

氏名	小林	西沢	下田	塚井
種目	10000m	5000m	5000m	5000m
組	13組目	10組目	32組目	33組目
タイム	30'23"06	15'58"18 (引退レース)	14'10"34 (入社後ベスト)	14'07"33 (入社後ベスト)
順位	38/39	26/36	12/34	18/37

【レポート】

師走が近づく中、朝晩はめっきり寒くなつてきましたが、長距離選手にとって1年の中で最も記録が狙い易い時期でもあります。

今回は11月29~30日に開催された日本体育大学長距離競技会に4名の選手が出場しました。

初日に行われた10000m13組目には、小林がレースに臨みました。

小林は、東日本実業団駅伝前後にも、トラックレースの出場を予定していましたが、脚の痛みや違和感からレースの回避が続いていました。

今回も万全の状態ではないものの、レースに懸ける強い気持ちで出場に至りました。

28分台の前半を狙うハイレベルな組のため、序盤から2分50秒/km程のペースでレースは進み、小林も先頭集団の後方に位置します。

しかし、3000mを8分36秒台で通過すると、少しずつ集団との距離が広がり、5000m以降は単独走の中、ペースも落ちましたが、最後までレースを捨てずに走り切り30分23秒台でのゴールとなりました。

万全の状態でレースを迎えられず悔しい結果となりましたが、最後まで走り切った姿は小林の意地を感じることが出来ました。



中盤以降は単独走となり苦しい走りとなつた小林

翌日には 5000m のレースが行われ、西沢、下田、坪井の 3 名が出場しました。

10 組目に出場した西沢はこれが引退レースとなり、これまで入社して 7 年間故障が多くレースへの出場機会に恵まれませんでしたが、競技人生を振り返りながら 15 分 58 秒でのゴールとなりました。今後は社業に専念しますが、会社に貢献出来るよう活躍を期待します。



ラストランを笑顔で終えた西沢

続いて32組目には、2週間前の同記録会で14分12秒台の好走を見せた下田が出場しました。

序盤はいつもの如く集団の最後方で落ち着いた走りを見せ、2000m過ぎから集団の前方に位置を変えて3000mを8分30秒台で通過すると、先頭集団のペースが上がり、少し距離は開きましたが、好位置をキープして記録への期待が高まりました。

ラスト1周も鋭いスパートを見せた下田は、入社後ベストを更新する14分10秒台でゴールしました。



二週連続で入社後ベストを更新した下田

33組目に出場した坪井は3周続けてのレースとなり、10000mでは28分台の自己ベストを更新し、今回のレースでは13分台の期待が高まりました。

下田が走った32組目よりペースは速くなりましたが、坪井はリラックスした表情で先頭集団の流れに乘ります。

3000mを8分28秒台で通過し、この時点で表情に余裕があつたため、ラストの上がり次第では十分に13分台も狙える展開でした。

結果として、13分台には僅かに届かなかつたものの、14分7秒台の入社後ベストを更新する力走を見せてゴールしました。



三週続いたレースのいずれも好記録を残した坪井

【総評】

今回は 5000m に出場した坪井と下田が、いずれも入社後ベストを更新する走りを見せてくれ、チームの中核を担う選手達が結果を出してくれました。

10000mに出場した小林はコンディション不良のため、本来の走りではありませんでしたが、最後まで走り切った姿はレースに対する強い気持ちを感じることが出来ました。

今回引退レースとなった西沢も、これまで 7 年間チームに在籍する中で故障が多い競技人生となりましたが、最後に笑顔でレースに出場出来たことは、今後の社会人人生の糧になったものと思われ、これまでの労を労いたい気持ちです。大変お疲れ様でした。

12 月に入り朝晩の寒さが本格化してきましたが、チームとしては体調管理を徹底し、年明けの奥むさし駅伝、埼玉県駅伝に向けて日々のトレーニングに取り組んで参ります。

今後とも皆様の温かいご声援をお願いいたします。

以上

画像提供：ELDORESO 阿久澤様